

社会福祉活動資金づくり
「第10回 芸能チャリティー公演」



▲華麗な舞いと演奏が披露された

華やかな演舞1200名余の観客を魅了

本会主催による「第10回芸能チャリティー公演」が11月12日(日)、那覇市民会館で開催された。
本公演は八重山民謡の重鎮である山里勇吉氏が企画し、県内の琉舞や日舞、民謡等の研究所の方々総勢500名余がボランティアで参加。昼、夜の2回公演で約1280名の観客が来場し、「かぎやで風」「恩納節」揚作田

節の華やかな幕開きを始め、日本舞踊や民謡、演歌などバラエティに富んだ演目が披露された。
また、公演終了後には協賛企業から提供いただいた景品の抽選会を行うなど最後まで来場者に楽しんでもらった。10回を数えるこれまでの公演の収益金は約1700万にも上り、本会の福祉活動推進の主要な財源となっている。関係者各位の皆様のご協力ありがとうございました。

2/25 芸能の夕べ
を開催

県社協では「社会福祉活動資金づくり・第33回芸能の夕べ」を左記のとおり開催します。皆様のご来場をお待ちしております。お問合せは県社協総務部まで。

▼日時 2月25日(日)
17時30分開場 18時開演
会場 沖縄コンベンションセンター 劇場棟
▼協賛 沖縄新進芸能家協会、都山流尺八楽会沖縄県支部、西川流沖縄県支部、生田流箏曲沖縄筑紫会
▼入場料 1枚1500円



▲去年の公演から

新年のごあいさつ



新年、あけましておめでとうございます。
皆様におかれましては、希望に満ちた新春を、お健やかにお迎えのことと心からお喜び申し上げます。
昨年は、沖縄県行財政改革プランに沿って「財団法人沖縄県いきいきふれあい財団」を統合し、高齢者関係事業及び基金助成事業の充実を図られ、事業が着実に進められ

沖縄県社会福祉協議会
沖縄県共同募金会
会長 呉屋秀信
たことは、皆様の深いご理解とご支援の賜と感謝申し上げます。
さて、わが国の社会福祉を取り巻く情勢は、少子高齢化の進行に伴う人口減少社会を迎える中で、社会全体で子育てを支援し、誰もが安心して子育てができる制度や介護保険制度の改正、障害者自立支援法の施行など、これからの時代にふさわしい社会福祉制度の改革が進められています。
このような中で、本会は時代の変化と多様化する福祉ニーズに対応するため、地域における様々な福祉課題を明確にし、住民の目から福祉問題に取り組み解決していくようとする地域の福祉力

の強化に努めるとともに、その活動の広がりを支援してまいります。
また、昨年策定されました「第2次沖縄県社会福祉協議会21プラン」を着実に推進し、市町村社協、社会福祉施設・団体、社会福祉関係機関等との連携強化を図り、県民誰もが住みなれた地域で安全で安心して暮らすことができる「支え合い・共に創る福祉社会」の形成に努めていきたいと存じます。
年の初めにあたり、県民の皆様がますますのご健勝とご多幸をお祈り申し上げますとともに、社会福祉に対するなお一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。新年のごあいさついたします。
平成19年元旦

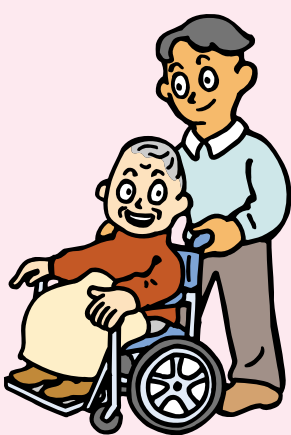
福祉用具を使って「楽々介護」を

高齢者の介護は精神的にも肉体的にも負担が大きいです。福祉用具を上手に使うと「楽に、楽しく」介護ができます。
今回は、移乗動作で使用する主な福祉用具をご紹介します。

使いやすい移乗用具の使用で負担を軽減

わたしたちのくらしのなかで、移乗動作・移動動作はADL(日常生活動作)の基礎になっています。

特に移乗動作は、高齢者や障害者が自立できない場合には、介助者の負担が増加しやすくなります。目前にせまる超高齢社会は高齢者、障害者及び介護者の高齢化に伴う「老老介護」時代です。高齢による本人の自立度及び介護者の介助力の低下は目にみえており、高齢の介護者にも使いやすい移乗用具の使用により、できるかぎり介護者の身体的負担が少なくなるように考慮することが大切です。



移乗動作で使用する介助(補助)ベルトのご紹介

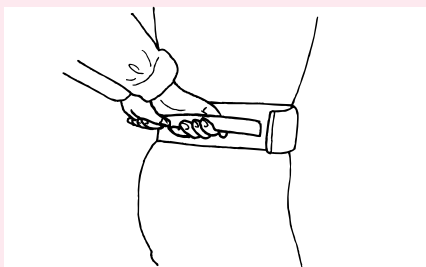
立位が困難な人を介助するとき、腰部をしっかり支えることが必要となります。移乗介助用補助ベルトは数か所に把手が付いていて、歩行困難のため一人では近距離の移動も難しい人をベッドから車いす、車いすから便座などへ移乗させるときに使用します。

介助ベルトを使用すると、移乗者を安定した姿勢で支えることができるので、介助者にも負担が少なく、移乗する人の安定性も確保することができます。



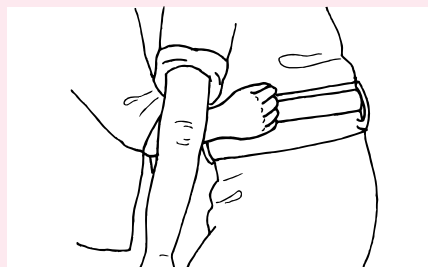
▲一般的な介助ベルト

①介助ベルトA



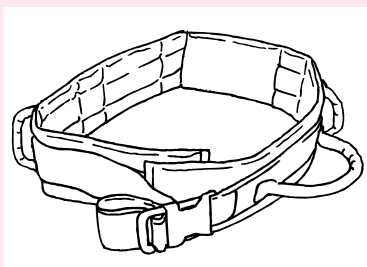
把手がベルトと直角についているので手前に引きやすい。
材料はナイロン製。
寸法は腰サイズ810mm~1040mm。

②介助ベルトB



把手がベルトと平行についている。入浴時などの移乗介助に便利。材質はナイロン製のパイル地で柔らかく、肌にやさしい。寸法は80mm.長さ1500mm。

③介助ベルトC



移乗者または移乗介助する人が付けるベルトで両者が握りやすいように把手が水平方向と垂直方向についている。把手の形状も円形状にして手指を入れやすくしてある。

垂直方向の把手は、主に移乗者がベッド端座位からつかまり立ちなどのときに使用する。水平方向の把手は、移乗介助する人が移乗者を持ち上げるなどときに使用する。両者がベルトを付けると移乗介助が容易になる場合がある。

このように福祉用具を上手に使うことにより、介護が「楽に、楽しく」できます。
その他にも多種多様な福祉用具がありますので、用途に合った福祉用具を効果的に使ってください。
沖縄県介護実習・普及センターでは、福祉用具についての展示や相談を専門相談員が受けまですので、お気軽にご利用ください。全て無料です。

《お問合せ先》

沖縄県介護実習・普及センター
沖縄県総合福祉センター東棟1階
電話(098)882-1484
FAX(098)882-1486
開館時間 月曜日~金曜日
9時~17時(土・日・祝祭日は休館)